

ルワンダ月報（2023年4月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

1. 内政・外政

- 1日、王駐ルワンダ中国大使は、中国共産党の代表として、カガメ大統領主催のルワンダ愛国戦線（RPF）第16回大会に出席。
- 1日、ルワンダとケニアの二国間協力強化のための第9回合同常設委員会がキガリにて開催。
- 2日、カガメ大統領は、ルワンダ愛国戦線（RPF）党総裁に再選され、ウイマナ氏は副総裁、ガサマゲラ氏は事務局長に選出された。
- 3日、EUのルワンダ大使とルワンダ政府は、両国パートナーシップに関する定例政治対話を開催。
- 3日、ンギレンヘ首相が、農家が低金利融資を受けられる3億ドルのアグリビジネスプロジェクトを開始したと、国会両院で農業に対する政府の取り組みを発表。
- 5日、カガメ大統領とルワンダを訪問中のケニアのルト大統領は、矯正サービス、外交訓練、ICT、保健、青少年、を含む9の協定に調印したことを共同発表。
- 6日、チーム・ヨーロッパとルワンダ大学のパートナーシップにより、アフリカにおける持続可能な現地生産と品質が保証されたワクチン、医薬品、保健技術へのアクセス向上を確保するため、バイオテクノロジーの修士課程と博士課程が開始。
- 7日、カガメ大統領は、「ツチ族に対する大量虐殺」から29周年を記念して、国民統合を強化し、暴力、憎悪、ジェノサイドのイデオロギーへの抵抗を強化することを約束。
- 7日、グテーレス国連事務総長は、「1994年のルワンダでのツチ族に対するジェノサイドに関するこの国際的に反省する日に、私たちは29年前の100日間の恐怖の中で亡くなった100万人以上の子ども、女性、男性に哀悼の意を表します」と述べた。
- 8日、フランス政府とパリ市が、「ツチ族に対して行われたジェノサイド」の犠牲者への祈念碑をパリ市の中心部、セーヌ川の岸壁に建立すると仏大統領府が発表。
- 11日、フランスで、「ツチ族虐殺」の第29回記念行事において、国とパリ市が共同でパリ中心部に国立記念施設を設置することを発表。

- 13日、カガメ大統領はニューヨークで、10周年記念コロンビア・グローバル・エネルギー・サミットに出席。
- 14日、RIB（ルワンダ捜査局）の報告によると、2023年のジェノサイド記念週間には、ジェノサイド思想に関連する犯罪で合計62人が起訴された。
- 15日、ルワンダ国防軍(RDF)の招待により、中国の軍事パレード訓練チームがルワンダに到着、RDFと協力して軍事パレードの訓練を行う。
- 16日、カガメ大統領は、タロン大統領の招きで、ベナンを訪問。二重課税、農業、デジタル、地方自治、持続可能な開発、軍事協力、貿易・産業、観光、投資促進の分野における二国間協定の署名に同意。
- 17日、カガメ大統領はギニアビサウを訪問。エンバロ大統領と、二国間協力の可能性のある分野や西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の地域情勢などを協議。
- 18日、カガメ大統領は、既存の関係を深め、経済、安全保障、農業、鉱業、文化などの分野での協力を強化することを目的としてギニア訪問。
- 19日、セルビア共和国モミロヴィッチ内務・外国貿易大臣が来訪。ルワンダがセルビアから小麦とトウモロコシを輸入し、バルカン諸国へコーヒーとお茶を輸出するという取引に合意。
- 20日、ビルタ外務大臣は、スロベニア共和国で開催された第12回アフリカデー国際会議に参加。本会議は、「アフリカとヨーロッパ：未来に向けた気候の安全保障-グローバルな課題、ローカルな行動」がテーマ。
- 21日、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は、コンゴ民主共和国、ルワンダ、国連機関の三者で、両国の国境沿いのルワンダ人とコンゴ人の難民問題について会談開催を発表。
- 21日、コンゴ民主共和国に拠点を置くルワンダ・フツ族FDLRの元戦闘員6名が、国際犯罪高等裁判所会議所から懲役5年を言い渡される。
- 23日、ウガンダのムセベニ大統領の息子で、特別作戦顧問であるカイネルガバ将軍が、カガメ大統領の招待により誕生日を祝うために、マオ法務大臣とムフウェジ内務大臣、ウガンダの国会議員や投資家を伴ってキガリ来訪。
- 25日、英国のルワンダへの移民派遣計画は、東アフリカの国は安全な国ではないため違法であると、亡命希望者グループの弁護士がロンドンの控訴裁判所に訴え。 (East African)
- 26日、ジンバブエにて開催される第6回トランスフォーム・アフリカ・サミットにカガメ大統領が参加。このサミットは、アフリカを代表する年次フォーラムで、政府、企業、国際機関からリーダーが集まり、アフリカで進行中のデジタル革命を形成、加速、持続させる協力を行う。
- 27日、カガメ大統領からのメッセージ（内容は非公開）を携えたマナセ東

アフリカ共同体担当大臣一行がブルンジのンダイシミエ大統領を訪問。

- 27日、タンザニア連合共和国サミア大統領は、タンザニアを訪問中のカガメ大統領と会談後、タンザニアは既存の貿易レベルを引き上げるために、ルワンダとの貿易促進のためのインフラ整備を続けていくと述べた。

2. 開発協力

- 6日、財務・経済計画省とフランス開発庁（AFD）は3月24日、キガリ市のインフォーマル居住地の住民の生活環境を改善するための4000万ユーロの支援に署名。このプロジェクトにより6万人が直接恩恵を受ける。
- 17日、東アフリカ共同体（EAC）と国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は地域全体で国際的保護を必要とする難民・庇護希望者の問題に対処するための協力を目的とした覚書に調印。

3. 経済

- 3日、ルワンダ政府は、2023年4月3日から今後2ヶ月間の燃料価格の引き下げを発表。
- 3日、ルワンダ政府は農家が8%という低金利で融資を受けられるようにするため、3億ドルのアグリビジネスプロジェクトを開始したと、国会両院でンギレンヘ首相が農業に対する政府の取り組みを発表。（The New Times）
- 5日、ルワンダ国家警察（RNP）は、電子仮運転免許証の発行を開始。
- 11日、ルワンダ開発局（RDB）は、オーストラリアの5主要都市で観光と投資促進のプロモーションを実施。
- 18日、ルワンダ航空は6月27日よりパリへの直行便を週3便で就航予定と発表。
- 20日、FSD アフリカは、スイス・リー財団およびルワンダ国立銀行と提携し、アフリカ9カ国で革新的な事業に投資することにより、低所得者層の保険加入率の向上を目指すプログラムを開始。
- 21日、2023年1月の大統領令及び2022年5月可決の改訂中期歳入戦略（MTRS）に沿って、税制改革が閣議決定された。法人所得税（CIT）、付加価値税（VAT）、物品税に焦点を当てたこの税制改革は、税率の引き下げ、課税ベースの拡大、税務コンプライアンスの改善、脱税の抑制を実現し、2025/26年度までに税収がGDP比で1%増加するとしている。
- 24日、ルワンダ国内で3年以内にデジタル身分証明書を発行する計画をICT・イノベーション担当大臣が発表。（The New Times）

以上